

コンゴ（民）経済情勢
月例報告
2018年8月

主な出来事

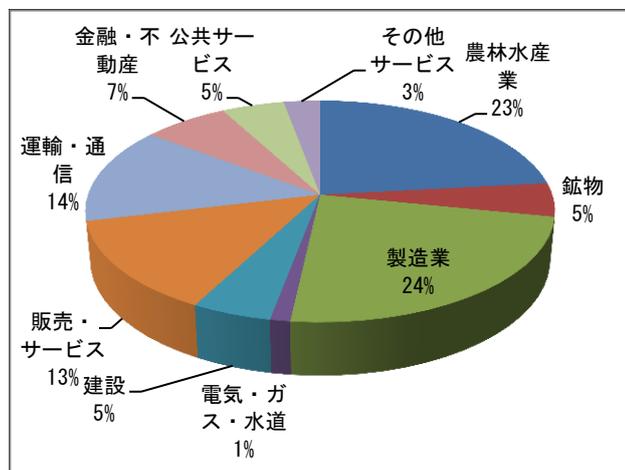
●20日、チバラ首相は、中国水利水電建設集团公司（Sinohydro Corporation）が施工するゴマ（北キブ州）のスタジアム改修の起工式に参加した。本件は、中国政府による10百万ドルの支援で遅くとも2018年12月30日までに完成する予定である。

●22日、在コンゴ（民）中国大使館のシュ・ユエンジエ経済参事官は、中国とコンゴ（民）の合弁企業である鉱山企業シコミン社による2017年の対コンゴ（民）投資額が29.5億ドルであるとし、両国間で合意されたシコミン協定は大きな成果を上げているとした。

●22日、マテンボ外務・地域統合副大臣とワン中国大使は、外務・地域統合省の外交アカデミー内に設置された、コンゴ（民）初となる孔子学院の開校式に出席した。同校は、2017年11月に、コンゴ（民）外交アカデミーと孔子学院間の合意に基づくもので、これまでの英語、ロシア語等に加え、中国語の習得を主な目的としている。

	主なマクロ経済指標	2017年	2018年8月
1	人口（百万人）	84.130 (2016)	-
2	失業率（%）	NA	-
3	実質GDP（10億コンゴ・フラン）（ドル額未発表）	11,356.49	-
4	名目GDP（10億ドル）	40.415	-
5	一人当たりGDP（ドル）（推定値）	415.20	-
6	GDP成長率（%）	3.5	-
7	インフレ率（%）	53.46	0.251%（7月）
8	貿易収支（百万ドル）	415.19	-
9	輸出（百万ドル）	12,730.28	-
10	輸入（百万ドル）	11,356.49	-
11	対外直接投資（百万ドル）	233.27	-
12	対内直接投資（百万ドル）	1,557.15	-
13	外貨準備高（百万ドル）	863.7	1147（7月） （4.8週間）
14	対外債務残高（百万ドル）	3,880.64	-
15	為替レート（対ドル）	1,465.91	1,626.93 （7月）
16	主要政策金利（現行、年利%）	20.00	14.00

GDP セクター別構成比(2015年)



(出典：OECD African Economic Outlook 2015)

(2017年データ出典：コンゴ（民）中央銀行，IMF および世銀)

経済

1 市場（鉱物・資源関係）

(1) 中国とコンゴ（民）の合弁企業であるシコミン社の 2017 年対コンゴ（民）投資額は 29.5 億ドル

22 日、在コンゴ（民）中国大使館のシュ・ユエンジェ経済参事官は、中国とコンゴ（民）の合弁企業である鉱山企業シコミン社による 2017 年の対コンゴ（民）投資額が 29.5 億ドルであるとし、両国間で合意されたシコミン協定は大きな成果を上げているとした。また同氏は、同社の第 1 次採掘フェーズは 2016 年 4 月に開始され、右フェーズで 38 件のインフラ開発に係る合意署名（総額 885 百万ドル）が行われたと述べた。これらインフラ開発により、4,494 名の雇用が創出され、5 万人以上が職業訓練を受けた。また同社の社会福祉事業への支援額は、460 万ドルにのぼるとしている。2017 年 5 月には、在コンゴ（民）中国大使館に中国・コンゴ（民）調整・フォローアップ事務局が設置された。中国企業の洛陽ラン川モリブデン業集団（CMOC）が、第 1 回投資フォーラムをキンシャサで開催し、同フォーラムには中国招商銀行、中国建設銀行、中国・アフリカ開発基金及び中国・アフリカ産業協力基金が出席した。同フォーラムでこれらの金融機関は、コンゴ（民）政府及び民間企業に、中国の対コンゴ（民）投資政策を明らかにし、右に必要な資金調達及び融資に係る意見交換をコンゴ（民）側と行った。同氏は、中国・アフリカ開発基金が、コンゴ（民）で事業を行う CMOC、中国有色鉱業集団（CNMC）及び紫金鉱業への融資に積極的であると述べた。また同氏は 2017 年に、CMOC がテンケ・フングルメ鉱山社（TFM）の株式の内 80% を 38 億ドルで買収し、右買収が、シコミン協定の締結後、中国の対コンゴ（民）投資における最大の投資案件であると述べた。さらに同氏は、中国・コンゴ（民）の経済協力関係が良好である旨強調している。（24 日付け ACP 紙）

(2) 2018 年第 1 四半期の銅鉱石生産量は増加

コンゴ（民）中央銀行（BCC）は、2018 年上期のコンゴ（民）の鉱物資源生産量を発表した。（29 日付け ACP 紙）

・ 鉱石生産量

2018 年上期: 296,083 トン（内訳は国営企業 Gécamines 社が 6,635 トン、その他企業が 289,448 トン）

2017 年同期: 274,316 トン（内訳は国営企業 Gécamines 社が 4,636 トン、その他企業が 269,680 トン）

・ コバルト生産量

2018 年上期: 23,921 トン（内訳は国営企業 Gécamines 社が 37 トン、その他企業が 23,884 トン）

2017 年同期: 17,794 トン（内訳は国営企業 Gécamines 社が 31 トン、その他企業が 17,763 トン）

・ 亜鉛生産量

2018 年上期：513 トン

2017 年同期：4,459 トン

・ダイヤモンド生産量

2018 年上期：11,677 カラット

2017 年同期：5,016 カラット

・地金生産量

2018 年上期：8,549 キログラム

2017 年同期：7,795 キログラム

・原油生産量

2018 年上期：3,982 バレル

2017 年同期：3,797 バレル

2 公共事業等（エネルギー・交通・インフラ・金融・製造等）

(1) 中国水利水電建設集団公司 (Sinohydro Corporation) がゴマのスタジアム改修を施工

20 日、チバラ首相は中国水利水電建設集団公司 (Sinohydro Corporation) が施工するゴマ（北キブ州）のスタジアム改修の起工式に参加した。本件は、中国政府の 10 百万ドルの支援で施工され遅くとも 2018 年 12 月 30 日までに完成する予定である。本件により同スタジアムは、観客席 15,000 席（改修及び増設）、照明、VIP 席、ロッカールーム 2 部屋、救護室、駐車場（160 台収容駐車場の改修及び増設）を有する。（22 日付け ACP 紙）

(2) リメテ地区第 7 道路の改修工事の開始

21 日、ルアカ・インフラ・公共事業・再建大臣はキンシャサ・リメテ地区の第 7 道路整備計画（全長 300 メートル）を明らかにした。同計画は、都市道路整備公団（OVD）主管の下、中国企業（Yung Ping International Group）が施工を行う。施工期間は 6 ヶ月で総工費は明らかにされていない。（21 日付け Radio Okapi）

(3) TRANSCO 社（公共バス）が約 2,000 台のバスを購入

22 日、マキラ副首相兼運輸・交通大臣は TRANSCO 社（公共バス）が約 2,000 台のバスを購入することを明らかにした。同社は今年末までに約 2,000 台のバスを入手すると見られている。（22 日付け ACP 紙）

3 財政・マクロ経済・行政など

(1) 金融政策委員会（CPM）

10 日、コンゴ（民）中央銀行（BCC）は第 7 回金融政策委員会（CPM）を催した。発表されたマクロ経済指標は以下のとおり。（23 日付け Référence Plus 紙）

2018 年経済成長率予想：4.2%（2017 年：3.7%）

インフレ率（2018年7月）：0.251%（2018年6月：0.251%）

財政収支（2018年7月）：636億コンゴ・フラン（約40百万ドル@1,600コンゴ・フラン／ドル）の赤字（注・選挙関連費の捻出による支出増）

為替率（2018年7月末）

銀行間レート 1,626.93コンゴ・フラン／ドル

市中間レート 1,652.50コンゴ・フラン／ドル

外貨準備高（2018年7月）：11.47億ドル（4.8週間）

政策金利：14%

準備率

外貨 短期 13%

長期 12%

内貨 短期 2%

長期 0%

4 投資環境・各国関係・その他

(1) ブリュッセル・エアウェイズがキンシャサ便を削減

ブリュッセル・エアウェイズは、キンシャサ便を週7便から週4便に削減することを明らかにした。現在、週に700から1200人の乗客が同就航便を利用している（10日付けACP紙）

(2) キンシャサのスーパーでレジ袋が有料化

7月1日から市中のスーパーではプラスチック袋が廃止され、エコ袋の有料化が始まった。6月30日にキンシャサのスーパーでプラスチックレジ袋の使用を禁止する旨の法令が発表されていた。今後買い物客は、小さいエコ袋を1袋0.1ドル、大きいエコ袋を1袋0.18ドルで購入することになる。同措置は市中の大型スーパーから小型販売店まで適応される。

（13日付けRadio Okapi）

(3) 韓サムソン社はコンゴ（民）から撤退

18日、在コンゴ（民）韓国大使は韓サムソン社がキンシャサ事務所を閉鎖することを明らかにした。同大使は、同国で横行する携帯電話等の同社の偽物製品の流通が閉鎖理由の全てではないが閉鎖理由の1つと述べた。（25日付けJeune Afrique）

(4) 国費留学生65人を中国に招聘

中国は、2018年9月の新学期からコンゴ(民)学生65人を国費留学生として招へいする。8月17日、本件の壮行会レセプションが在コンゴ(民)中国大使館で開催され、コンゴ(民)側よりムビカイ高等・大学教育大臣が出席した。(21日付けLe Potentiel紙)

(5) 孔子学院の開校

22日、マテンボ外務・地域統合副大臣とワン中国大使は、外務・地域統合省の外交アカデミー内に設置された、コンゴ(民)初となる孔子学院の開校式に出席した。同校は、2017年11月に、コンゴ(民)外交アカデミーと孔子学院間の合意に基づくもので、これまでの英語、ロシア語等に加え、中国語の習得を主な目的としている。マテンボ外務・地域統合副大臣は、「この試みは、コンゴ(民)外務・地域統合省にとっての、中国との文化外交の重要性を示すものである」と述べた。一方でワン大使は、「コンゴ(民)初となる孔子学院の開校は、中国語を学びたいというコンゴ(民)側の要望に答えたものである」と述べた。(22日付けACP紙)

(6) 中国の中南大学とキンシャサ大学が学術交流に係る協定締結に向け協議

21日、ンゴマキンシャサ大学学長と中国のチュウ中南大学副学長(注：同大学本部は湖南省長沙市所在)は学術交流協定の締結可能性につき協議した。キンシャサ大学は、土木工学、医学、地質学、情報科学、環境学、化学、生物学、鉄道・交通工学、政治学等の分野で中南大学との学術交流を望んでいる(23日付けACP紙)。

(7) 中国がルブンバシの病院建設に10百万ドルを支援

中国の支援によりルブンバシ(オー＝カタンガ州)で建設中の病院は、2018年9月に完成が予定されている(総工費10百万ドル)。また中国の支援により、文化・芸術センターが建設予定(総工費50百万ドル)であり、本件に係る中国人専門家チームがまもなく当地を訪問する予定となっている。(30日付けACP紙)